

一関楽走会は7月19日、大船渡線開業100周年を記念し、一ノ関駅から気仙沼駅まで沿線の各駅で中継しながら駅伝を行いました。大船渡線は地域住民や観光客などの足として重要な役割を果たしてきており、今月26日に一ノ関～摺沢間が開業100周年を迎えることから、この機運を盛り上げ利用促進に寄与しようと企画したものです。

19日は早朝5時に一ノ関駅を出発し、14駅、13区間75.5Kmを18名の会員が約5Km毎に継走しました。

出発式

出発式には一関市まちづくり推進課鈴木勝憲課長に出席いただき、一関市長からのメッセージが紹介されました。

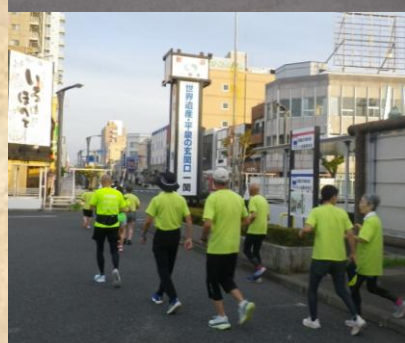


鈴木課長のスタート合図で午前5時、一ノ関駅を出発。

第1区

真滝駅までの5.6Km
第1区は事務局長の齋藤祐二さん

第1区走者の齋藤さんを先頭に、最初は一ノ関駅をスタートしました。



朝靄にけむる一関市街地を背に国道284号、旭町の跨線橋を渡り、大船渡線沿いに走行。



第1中継所の真滝駅に到着



最初の中継駅、真滝駅では真滝8区行政区長の渡辺一男さんが出迎えて、歓迎と激励の言葉をいただきました。挨拶では、自らの学生時代に通学した大船渡線の思い出なども述べられていました。

真滝駅



控え走者の会員を乗せるサポートバスがコースを伴走しました。



第 2 区

陸中門崎駅までの18.7Km
走者：柴山東治、菊田和夫、菅原孝一



1区齋藤祐二さんから2区第1走者、柴山東治さんへ襷リレー。

第2区第1走の柴山東治さんは、渡辺一男区長さんの合図で真滝駅スタート。



国道284号滝沢九鬼地内の上り坂にさしかかる柴山さん



草刈場のかあちゃんラーメン前を激走



2区の第1中継所、平沢バス停に到着



第2区第2走者は菊田和夫さんです。



襷をもらい、平沢バス停を勢いよく飛び出しました。



北上川に近づいてきたら、一段と霧が立ち込めてきました。

この時間はまだ早朝なので、気温も上がらず、通行車両も少なく、気持ちよく走れていました。

各駅到着の計画時間を気にしながら軽快な走りです。



北上川を渡ると「鍋づる路線」「ドラゴンレール」といわれる所以となり、線路は東方から一転、北へ向かいます。

川崎薄衣の町



第2区第2中継所到着(川崎市民センター付近)



第2区第3走者は菅原孝一さんです。



菊田和夫さんから襷を受け、川崎市民センター横を通り、陸中門崎駅を目指します。国道284号から県道東山薄衣線に入り、薄衣・門崎の町を力一杯走りました。



砂鉄川には川霧がかかり、鶴巻橋を渡って陸中門崎駅に向かいました。



砂鉄川・北上川合流点の「砂鉄橋」付近には菅原孝一さんの実家があり、故郷をかみしめながらの力走でした。



陸中門崎駅

一ノ関駅から2駅目に到着しました。

走行距離は24.3Km



第3区

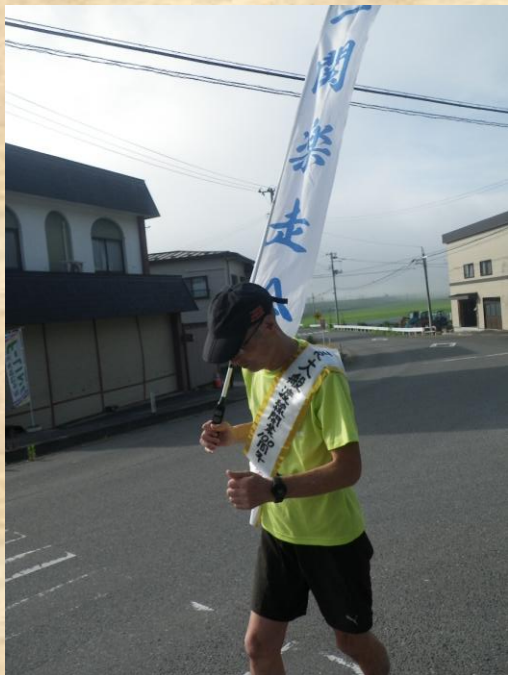
岩ノ下駅までの4.1Km
走者:阿部 隆



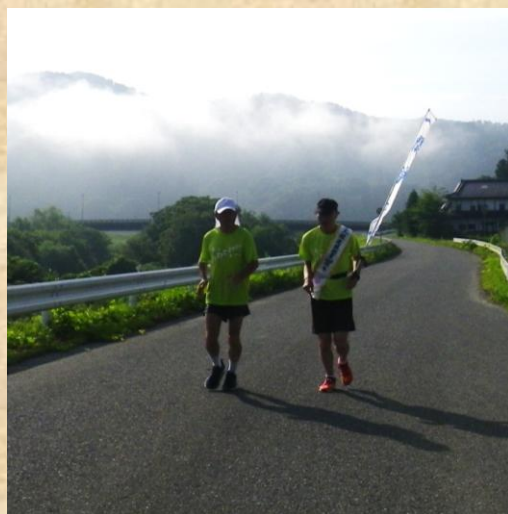
2区第3走者の菅原孝一さんから襷をもらい、陸中門崎駅をスタート。線路沿いの道を一路、岩ノ下駅へ。



この時間になると日差しも高くなり、走者の影もくっきり。ここからは暑さとの勝負です。



上り2番列車がちょうどさしかかりました。



ジリジリと気温が上昇し始めた中、岩ノ下駅に到着しました。



岩ノ下駅



第 4 区

陸中松川駅までの4.1Km
走者: 大越昭夫

岩ノ下駅を元気にスタート





線路すぐ脇の道を一步一步、リズムを刻みながら陸中松川駅を目指しました。

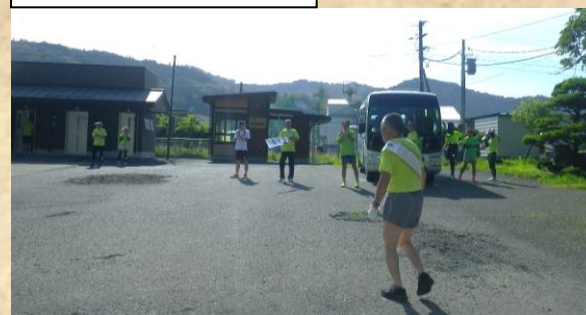


松川三室平地内で、またまた上り列車に遭遇しました。



陸中松川駅

陸中松川駅到着



第 5 区

狛鼻溪駅までの2.9Km
走者: 齋藤明美

かつて陸中松川駅は、石灰、セメントで東北有数の貨物輸送量の駅でした。





大越昭夫さんから櫓を受け、陸中松川駅をスタート。駅前の通りを狛鼻溪駅目指して北進。



踏切そばには宮沢賢治ゆかりの旧東北採石工場があり、展示されている人形達と記念撮影。この中に宮沢賢治さんも。宮沢賢治の「雨ニモマケズ、風ニモマケズ、……」の詩は、ここでの人々との関わりから生まれたものです。



駅伝ランナーも「夏の暑さにも負けず…」走り続けました。

セメント工場の脇を通り過ぎました。



東山町長坂の商店街に入り、狛鼻溪駅に到着しました。一ノ関駅より5駅目、走行距離35.4Km



狛鼻溪駅

第 6 区

柴宿駅までの2.8Km
走者: 熊谷秀雄



5区齋藤明美さんより6区熊谷秀雄さんへ櫓リレーされ、次の柴宿駅に向けて出発しました。





狛鼻溪駅のすぐそばに、日本百景の一つ狛鼻溪があります。溪谷と船下りです。ちょっと立ち寄りましたが、ちょうどその時、目の前の高架を列車が通過しました。



狛鼻溪を後にし、柴宿駅に向かう上り坂にさしかかりました。

熊谷さんの足運びもかなり重くなっていました。厳しい坂だ！

大船渡線に蒸気機関車が走っていた頃、このあたりが難所だったと言われていました。

柴宿駅

間もなく到着です。



摺沢駅までの5.3Km
走者:小野寺仁

第 7 区



柴宿駅前の産直センター「ひがしやま季節館」を力強くスタートしていきましました。

長坂里前の下りカーブを快調に飛ばしました。



左側、線路と砂鉄川に沿って一関大東線を摺沢駅へ向かいます。

大東町に入り、踏切を渡って商店街方向へ



摺沢駅が目前です。駅には摺沢市民センターや室蓬ホールが併設されています。



摺沢駅



摺沢駅では市民センター所長の菅野佳弘さんと地域の人たちにお出迎えをいただきました。

大船渡線の一関駅～摺沢駅間が、今年開業100周年を迎えます。



第 8 区

千厩駅までの9.3Km
走者：四垂真弓、吉川勝哉

8区第1走者、四垂真弓さんが小野寺仁さんから襷を受け、地域の人たちの激励をいただいて摺沢駅を後にしました。



摺沢の商店街を通り抜け、国道456号を南下して千厩駅に向かいます。



摺沢～千厩間は線路沿いを進みますが、アップダウンの連続で、特に前半は上りが多くあります。暑さと上りで四垂さん、よく頑張りました。中間点の摺沢羽折沢付近で中継となりました。



8区第2走者は吉川勝哉さんです。



四垂真弓さんから襷を受け、続く第2走は吉川勝哉が猛暑の中、スタートを切って行きました。



もうこの時点で、気温は30度を超えています。



右手に線路を見て、のどかな田園風景の中を気持ちよく走っているように見えますが、実際は暑さとの闘い。伴走者も大変。二度、三度と給水を取り、後頭部に水をかけて、忍耐の走りです。



「千厩市内」の道路標識が見え、元気が出ました。

千厩駅では地域の人たち10人余りが出迎えて下さいました。

一ノ関駅より8駅目、走行距離52.8Km



千厩3区行政区長の小野寺賢さんより、地域の人たちの代表で歓迎と激励のご挨拶をしていただきました。



千厩駅

小野寺さんは中学の時、「集団就職の同級生達をこの駅から見送ったときの事が忘れられない」と、大船渡線の思い出を話していました。



第 9 区

小梨駅までの3.8Km
走者: 西城 孝

千厩駅で大歓迎を受けた後、再び国道284号を小梨駅目指してスタートです。





猛暑で西城孝さんは、だいぶバテました。



最後の力を振り絞って、小梨駅到着。



小梨駅では、小梨市民センター所長の千葉康雄さんが出迎え、歓迎の言葉をいただきました。

小梨駅



第10区

矢越駅までの4.4Km
走者：伊藤克則





千厩町清田峠下付近
大きなストライドで
峠を上がりました。

室根町に入り、
矢越七日市付近
満を持しての
快走です。



矢越駅到着です。



室根山への入り口標識があります。



矢越駅



矢越駅では室根市民センター所長の金森勝利
さんに歓迎と激励をいただきました。



第 1 1 区

折壁駅までの2.7Km
走者: 安彦節子



伊藤克則さんから
襷を受け、小梨駅を
スタート。



国道284号の道路標識
には気仙沼の文字が見え
てきました。

左折して線路沿いに室根市街
地へ向かいます。





雄大な霊峰「室根山」を背にして、
室根商店街へと向かいます。



安彦節子さんは、元気いっぱい折壁駅到着です。
折壁駅では地元の千葉繁美さんが出迎えてくれました。
「暑さに負けず無事に走り通して下さい」と激励を受けました。



折壁駅



第 1 2 区

新月駅までの5.7Km
走者: 安彦敏郎、小野寺良信

安彦節子さんから敏郎さんへご夫婦での襷リレー。 室根のうどん屋さんを通過し、
標識にある気仙沼を目指します。



「いわいどり」の
オヤマ前を通過

軽快に室根を
駆け抜けます



折壁欠入田付近で上り列車とすれ違いました。



室根町折壁欠入田にて12区第2走者、小野寺良信さんへ襷リレー。

暑さ最高潮の中、新月駅に向けてスタートです。



真上からの太陽とアスファルトの照り返しで、気温以上の体感の暑さです。国道284号に戻り、気仙沼はもうすぐです。



暑さにも耐え、新月駅到着です。

新月駅

第 13 区

気仙沼駅までの6.1Km

走者：畠山真佐実
佐藤 東

いよいよ最終区間です。

第13区第1走者は、
畠山真佐実さんです。



新月駅スタート。新月駅を出ると間もなく宮城県入りです



県境最後の峠を越えて、気仙沼に入りました。

気仙沼市松川で畠山真佐実さんから最終ランナー佐藤東さんへ襷リレー。



気仙沼市街地に入り、ゴール目前となりました。

全員のサポートランで、気仙沼駅を目指しました。





気仙沼駅では、今か今かと駅周辺の人たち20人余りが待ち構えていて、到着すると大歓声で迎えられました。



気仙沼駅到着！

午後1時40分、佐藤東会長を先頭にして、全員で気仙沼駅にゴールしました。



一ノ関駅午前5時出発
気仙沼駅到着午後1時40分
走行時間：8時間40分
走行距離：75.5Km
駅数：14駅(中継17箇所)
走者人数：18名
サポート：3名

到着式

会場は気仙沼駅隣接のコミュニティセンターに用意されていました。



佐藤東会長は「大船渡線開業100周年を盛り上げようと走ってきました。皆さんの大歓迎に驚き、感謝します」と挨拶。



気仙沼市交通政策課長村上忠大様より気仙沼市長のメッセージが紹介され「4年後の気仙沼開業100周年につなげたい」と挨拶。



JR 気仙沼駅平藤一氏幸駅長は「地域の皆様に支えられており、感謝します。今後の事業に結びつきたい」と挨拶。



地域の人20人余りで歓迎いただき、代表として市議会議員の管原俊朗さんは「この度の企画を盛り上げていただき、大変ありがたく感謝します。この大船渡線による結びつきを今後も大事にしたい。大変お疲れ様でした」と感謝と労いの言葉を述べました。



到着式の後、一関楽走会一行は気仙沼駅14:17発の列車に乗り、帰途につきました。ホームでは気仙沼の皆さんがお見送りしてくださいました。



私たちが走ることで、この100周年の企画に協力できたことに感謝し、各駅でご協力いただいた皆様にも心より感謝申し上げます。